



# 今、私たちはAI革命の「1995年」にいる

インターネット革命と比べてわかる、今が準備の絶好機

「AIはバブルではないか?」「うちの会社にはまだ早いのでは?」

そう感じている経営者の方も多かもしれません。しかし歴史を振り返ると、現在のAIの状況は、インターネットが普及し始めた1995年頃と驚くほど似ています。

## AI革命とインターネット革命の比較

1995年当時、世界のWebサイトはわずか2,000程度。「インターネットは一時的な流行だ」と考える人も多くいました。しかし25年後、私たちの生活やビジネスは根本から変わりました。現在のAIも、まさにその「ダイヤルアップ時代（黎明期）」にあります。

項目	1995年（インターネット黎明期）	現在（AI黎明期）
普及の状況	Webサイトはごくわずか。 一部の先進的な企業のみが活用。	生成AIが普及し始め。 中小企業の本格導入はこれから。
世間の声	「一時的な流行で終わる」 「ビジネスには使えない」	「AIバブルではないか?」 「自社の業務には関係ない」
インフラ投資	光ファイバーや海底ケーブルに 巨額の投資が行われた。	データセンターやAI半導体に 世界中で巨額の投資が進行中。
もたらす変化	「場所」の制約をなくし、 情報を世界中につないだ。	「思考・作業」を自動化し、 生産性を劇的に向上させる。

## 中小企業経営者が今知っておくべき3つの事実

### 大企業との導入格差

約6倍

大企業のAI導入率が30%を超える一方、小規模企業は5%前後。この格差は今後さらに拡大すると予測されています。

### 導入しない最大の理由

「用途がない」

「自社のどこに使えるか分からない」が最多。具体的な活用事例を知ることが、最初の一步になります。

### 1 コストの民主化

かつて数千万円かかったシステムが、今は月額数千円～数万円のクラウドサービス（SaaS）として利用可能です。大企業だけの特権ではなくなりました。

IT導入補助金などで初期費用を抑えることも可能です。

### 2 人手不足への特効薬

見積書作成、データ入力、メール対応などの定型業務をAIが補助することで、担当者の業務時間を最大30～50%削減できた事例もあります。

採用難の時代、AIは強力な「デジタル人材」になります。

### 3 スモールスタートが鍵

いきなり全社導入を目指す必要はありません。まずは経営者自身が触ってみる、あるいは1つの部署の1つの業務から小さく試すことが成功の秘訣です。

「無理なく始める」が中小企業のAI活用の鉄則です。

## ミニコラム：「まだ早い」は危険な思い込み

インターネットが登場した時、「うちの業界は対面営業だから関係ない」と考えた企業と、いち早くWebサイトを作り情報発信を始めた企業とでは、その後の成長に大きな差がつかしました。AIも同じです。完璧なAIを待つのではなく、今の「少し不完全なAI」を使いこなし、社内にノウハウを蓄積し始めることが、数年後の大きな競争力につながります。

気になることがあればお気軽にお問い合わせください。

※本紙は一般的な情報提供を目的としています。

気になることがあれば  
お気軽にお問い合わせください